

# ビタミン誌 論文レイアウト 1 (総説, 総合論文, 原著, ノート, 資料, 講座, ミニレビュー用)

(論文種別) **総説, 総合論文, 原著, ノート, 資料, 講座, ミニレビュー**

総説: ある研究分野の最近の進歩を概説的に述べたもので, 刷り上がり\*13 ページ以内

総合論文: 著者の複数の原著論文の内容をまとめたもので, 刷り上がり 13 ページ以内

原著: 未発表の研究成果についての完結した論文で, 刷り上がり 7 ページ以内

ノート: 原著に準ずる内容であって, 新知見を報告するもので, 刷り上がり 4 ページ以内

資料: 著者の主観をはさまない研究成果, 統計資料等で, 刷り上がり 4 ページ以内

講座: 理論, 技術等の解説を行うもので, 刷り上がり\*13 ページ以内

ミニレビュー: 関連した論文を一編にまとめたもので, 刷り上がり\*7 ページ以内

\*刷り上がり 1 ページ (24 字× 46 行× 2 段)

## (和文タイトル) ○○○ についての研究

(和文所属) <sup>1</sup>○○大学○○学部○○研究室, <sup>2</sup>○○研究所○○部

(和文氏名) 日本 太郎<sup>1</sup>, 京都 花子<sup>2</sup>

(英文タイトル) **Study of** . . . . .

(英文氏名) Taro Nihon<sup>1</sup>, Hanako Kyoto<sup>2</sup>

(英文所属) <sup>1</sup>Department of . . . . , Faculty of . . . . , . . . University, Kyoto, 1-1, Japan

<sup>2</sup>Institute for . . . . , . . . Laboratory, Kyoto, 1-1, Japan

(英文抄録: 200 語以内)

(英文抄録に相当する和文)

(5 語の英文キーワード) **Key words:** vitamin B, protein, . . . .

(ランニングタイトル: 30 字以内)

(論文記載 (図表の掲載場所もわかるように))

(緒言, 実験方法, 実験結果, 考察, 結論, 謝辞, 文献の順に記載する.)

(引用文献: 文中に番号を上付けて付し, 最後にまとめて出所を記す. 複数引用する場合には, <sup>5)6)9)</sup>あるいは <sup>11)-16)</sup>のように記載する.)

(利益相反状況の開示)

## 文 献

(全著者名, 発行年, タイトル, 誌名 (欧文誌はイタリック体), 巻 (太字), 初—終ページの順とし, 書籍もこれに準ずる)

(引用文献記載例).

1) Abcde H, Fghi (2006) Abnormal . . . . . with dietary cobalamin deficiency. *J Nutr Sci Vitaminol* **52**, 168-173

2) Abcde H, Fghi (2006) "Vitamin K" in 'Biochemical, Physiological, Molecular Aspects of Human Nutrition' (2nd ed) ed by Stipanuk MH, pp. 797-818, Saunders, St Louis, MI (USA)

3) 日本 太郎, 京都 花子 (2006) ビタミン B<sub>6</sub> 糖誘導体の . . . . . ビタミン **80**, 537-542

(1 ページ下段に)

連絡先住所:

E-mail:

(論文種別) 研究論文紹介

研究論文紹介：国内外の欧文誌 (JNSV は除く) に概ね過去 2 年以内に  
発表された著者自身の原著 (投稿時に添付すること) を要約したもので、  
刷り上がり\*1~2 ページ以内

\* 刷り上がり 1 ページ (24 字× 46 行× 2 段)

(和文タイトル) ○○○ についての研究

(和文所属)<sup>1</sup> ○○大学○○学部○○研究室, <sup>2</sup> ○○研究所○○部

(和文氏名) 日本 太郎<sup>1</sup>, 京都 花子<sup>2</sup>

(オリジナル論文)

(英文タイトル) **Study of** . . . . .

(英文氏名) Taro Nihon<sup>1</sup>, Hanako Kyoto<sup>2</sup>

(英文所属)<sup>1</sup> Department of . . . . , Faculty of . . . . , . . . University, Kyoto, 1-1, Japan

<sup>2</sup> Institute for . . . . , . . . Laboratory, Kyoto, 1-1, Japan

[ 英文誌掲載名 巻, ページ - ページ (西暦) ]

(5 語の英文キーワード) **Key words:** vitamin B, protein, . . . .

(論文記載 (図表の掲載場所もわかるように))

(引用文献：文中に番号を上付けで付し、最後にまとめて出所を記す。複数引用する場合には、<sup>5)</sup><sup>6)</sup><sup>9)</sup>あ  
るいは<sup>11)</sup><sup>16)</sup>のように記載する。)

(利益相反状況の開示)

文 献

(全著者名, 発行年, タイトル, 誌名 (欧文誌はイタリック体), 巻 (太字), 初—終ページの順とし, 書籍  
もこれに準ずる)

(引用文献記載例).

1) Abcde H, Fghi (2006) Abnormal . . . . . with dietary cobalamin deficiency. *J Nutr Sci Vitaminol* **52**, 168-173

2) Abcde H, Fghi (2006) "Vitamin K" in 'Biochemical, Physiological, Molecular Aspects of Human Nutrition' (2nd ed) ed by Stipanuk  
MH, pp. 797-818, Saunders, St Louis, MI (USA)

3) 日本 太郎, 京都 花子 (2006) ビタミン B<sub>6</sub> 糖誘導体の . . . . . ビタミン **80**, 537-542

(1 ページ下段に)

連絡先住所:

E-mail:

# ビタミン誌 論文レイアウト 3 (トピックス用)

## (論文種別) トピックス

[トピックス：国内外の最近の重要な知見を簡潔にまとめて紹介するもの]

\*刷り上がり 1 ページ (24 字× 46 行× 2 段)

(和文タイトル)○○○に関する考察

(英文タイトル)Vitamin E . . . . .

(論文記載(図表の掲載場所もわかるように))

(引用文献：文中に番号を上付けて付し、最後にまとめて出所を記す。複数引用する場合には、<sup>5)6)9)</sup>あるいは<sup>11)-16)</sup>のように記載する。)

(5 語の英文キーワード) **Key Words:** vitamin E, protein, . . .

(英文所属) <sup>1</sup>Department of . . . . , Faculty of . . . . , . . . University, Kyoto, 1-1, Japan

<sup>2</sup>Institute for . . . . , . . . Laboratory, Kyoto, 1-1, Japan

(英文氏名) Taro Nihon<sup>1</sup>, Hanako Kyoto<sup>2</sup>

(和文所属) <sup>1</sup>○○大学○○学部○○研究室, <sup>2</sup>○○研究所○○部

(和文氏名) 日本 太郎<sup>1</sup>, 京都 花子<sup>2</sup>

(利益相反状況の開示)

## 文 献

(全著者名, 発行年, タイトル, 誌名(欧文誌はイタリック体), 巻(太字), 初—終ページの順とし, 書籍もこれに準ずる)

(引用文献記載例).

1) Abcde H, Fghi (2006) Abnormal . . . . . with dietarycobalamin deficiency. *J Nutr Sci Vitaminol* **52**, 168-173

2) Abcde H, Fghi (2006) " Vitamin K" in ' Biochemical, Physiological, Molecular Aspects of Human Nutrition' (2nded) ed by Stipanuk MH, pp. 797-818, Saunders, St Louis, MI (USA)

3) 日本 太郎, 京都 花子 (2006) ビタミン B<sub>6</sub> 糖誘導体の . . . . . ビタミン **80**, 537-542